



2024年3月16日（土）

金冠山・達磨山（982m）

Report By Kumamoto。

伊豆の金冠山・達磨山は、クマさん会で16, 7年前になるが2007年と2008年の忘年会で、2回登っている。今回は久しぶりに春の富士山を拝もうと企画し、7名が参加予定であったが、当日の朝、喉が痛いと吉松さんがドタキャンになり、参加者は布目さん、中島さん、服部さんの女性陣3人と石井さん、池戸さん、熊本の男性3名となった。この週の前半は最高気温12度前後であったが、当日の16日は20度予想と大幅な気温上昇で春の陽だまりハイクが期待できた。



予定のコースは、修善寺駅に集合し、バスで達磨山高原レストハウス下車。ここが START & Goal。

左図の富士見コースで金冠山を目指し、登頂後、戸田（へだ）峠から達磨山に向かい、山頂で昼食を取り、戸田峠に戻り今度は、きよせの森渓流コースをとり、スタート地点の達磨山高原レストハウスに戻るルートである。

下山後、修善寺温泉の「苔湯（はこゆ）」で入浴し、修善寺から三島に出て解散の予定。

16日（土）当日は、朝から雲一つない快晴の中を出発した。石井さん、中島さん、池戸さん、熊本は各駅電車を乗り継いで修善寺駅へ、遠方から来る布目さん、服部さんは三島まで新幹線の予定だ。



三島駅から修善寺に向かう伊豆箱根鉄道駿豆線は窓からドアから、全面アニメの絵が描かれいて、窓から見る富士山も霞んでしまっていた。



修善寺駅で一本早く来た石井さんの出迎えを受ける。



更に一本遅い電車で来た新幹線組の布目さん、服部さんもバス停で合流し、6名全員集合した。



バス 30 分程で、9:50 に達磨山高原レストハウスに到着。ここに展望台があり行ってみると · ·



正にこの展望台は富士山の絶景ビューポイントであった。

写真を撮って、いざ、金冠山への登山口へ · · · · ·



車道（18号線）を渡り、登山口にあるコース案内板で確認して、細い登山道を進む、富士見コースを行く予定だが、5、6分進んでどうも谷に向っている。どうやら間違えたようで出発点に戻る。



再び18号線を渡り返し「悠久世界平和郷」の案内板の先に「富士見コース」の登山口があった。10:12



5分程登ると、広い芝生状の登山道となる。空は青空、空気も澄んで気持ちが良い。



単調な登りではあるが、風はなく気温が上がってき、背中に汗が流れる。



登山道の両側は馬酔木が満開であった。



登り始めて 30 分、10:42 下りに入ると前方右手に金冠山が見えてきた。下りきると舗装道路にてて、戸田峠（達磨山）と金冠山との分岐で、我々は勿論、右手の金冠山を目指す。



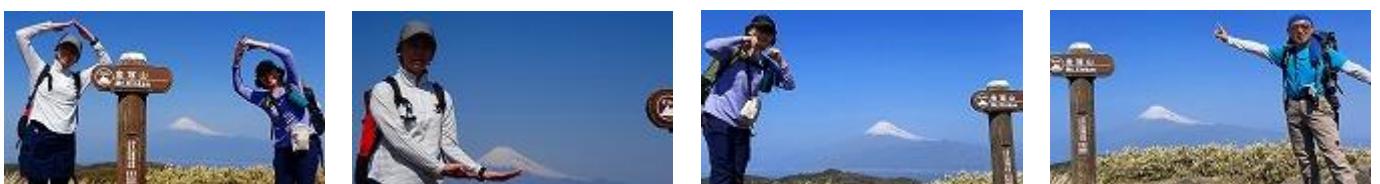
急登を 10 分程頑張ると金冠山山頂標識と富士山が目に飛び込んできた。10:55



金冠山（816m）で記念写真。布目さんが登りで少々苦戦し、別メニューでパチリ！ 11:00



石井さんから「湘南ゴールド」と「カステラ」の差し入れで、ビタミンと栄養補給で元気モッリモリ。



元気快復して、思い思いのハイ、ポーズ！！



山頂で 20 分程、休憩して下りに入る。再び舗装道路の分岐に戻り戸田峠に向かう。前方が達磨山だ。



11:25 戸田峠に到着。駐車場脇に達磨山への登山口があった。



5 分程登ると、右手眼下に戸田港と集落みが見えてきた。ここから階段の登りが始まる。

戸田峠から 20 分程、階段を登ると開けたところに出て、振り返ると · · · · ·



バックに再び富士山が現れて、思わず、皆さんニッコリ！

だが、ここからが難渋の連續で長い長い階段が続く



悪戦苦闘の末、12:05 「小達磨山（890m）」に到着。予定より 20 分遅れだ。

ここは展望もなく、写真を撮ってすぐ下山し達磨山に向かう。下りも階段、また階段だ。

達磨山を前に見て、下り切って車道に出る直前に広場があり、ここで昼食にする。12:15



布目さんから、卵焼きと菜の花を添えたお稲荷さん、花豆煮とピーナッツ等を頂く。毎回ご馳走様。



30 分程昼食休憩し、12:45 達磨山に向って出発した。

熊本はもう登りも下りもこれ以上の階段は「イヤー！」と、一人ここから引き返し、

戸田峠で皆さんを待つことにした。「皆さん頑張ってイッテラッシャーイ！」



いよいよ達磨山への登りに取り掛かる



12:51 最初のピークがまじかに迫った。



950m 近くまで登り、振り返れば小達磨山（890m）は右下に、そして富士山が再び現われた。12:55
右端の写真は、途中で勇退された布目さんに手を振る女子二人である。



13:05 本日の最高点 達磨山山頂（982m）に立った。



最後まで頑張った左から中島さん、服部さん、石井さん、池戸さん



最高点山頂で、決めポーズで締めて下山に入り、一路、戸田峠へ向か合う。13:15



健脚組の下りは早い。途中、布目さんに合流し戸田峠へ。



小達磨山の階段を下ったところで……

伊豆部屋の土俵入り？ いざれが「金冠山」で「達磨山」か？ 後方には、勘違い？ の「澤穂希」…… 布目の撮影に応えて咄嗟に四股？ を踏むが…… テーク 3 で面白い写真を撮って貰いました。（石井さん独白）



13:55 戸田峠に 6 名全員合流し、ほぼ予定のタイムに戻った。

健脚組（石井、中島、服部）は往路の戸田峠・金冠山分岐から富士見コースで達磨山高原レストハウスまで歩くと元気旺盛。軟弱組（熊本、池戸、布目）はここで休んで 14:38 のバスを待つ。



健脚組は脱兎のごとく駆け下り、予定半分の 20 分でレストハウスに到着し、ソフトクリームを… 一方、軟弱組は少々遅れたバスに乗った(14:40)。



14:42 健脚組がバスで合流し、修善寺温泉に向かう。



修善寺温泉バス停で下車し、赤い欄干の渡月橋を渡った先に日帰り温泉「箇湯（はこゆ）」があった。



15:10 温泉に到着。箇湯は源泉かけ流しで350円。右図の下足棚（18個）に空きがないと入れない。

これで入場者数をコントロールしており、男性は5分程待たされた。

湯舟は総檜風呂の内湯一つで、洗い場は三か所のみで、石鹼などは持参する温泉銭湯だ。



温泉で汗を流し、サッパリして修善寺駅から、15:51の電車で三島へ移動する。

湯上りの一杯を、修善寺駅から車中の缶ビールで乾杯するうちに、あっという間に三島だった。17:30



三島駅南口隣りにある東急ホテル一階に十割蕎麦の元年堂があり、最近、伊豆に来ると
帰りはここで一杯やり十割蕎麦で締めるのが恒例で、今回もそれに倣って全員が揃った。



先ずは乾いた喉にビールで乾杯し、後は沼津と由比の地酒の飲み比べで、ツマミは枝豆、
もろキュウ、板わさ、黒はんぺん、わさび漬け、手羽先カラアゲ等次から次へよく飲み、よく喰った



最後は十割のもりそばで締め、帰路に着く。布目さん、服部さん、熊本は新幹線で、「さよなら！」

今日は快晴で風もなく終日、富士山を眺めながらの草原歩き陽だまりハイクを堪能しました。

石井さんのコメント

何とも、ロケーションと陽気に恵まれた楽しい山行でした。

すれ違う人達の爽やかな顔や一言。冬枯れのゴルフコースを思わせる登山道は心に残りました。

ラストの達磨山・山頂で、初めての登山だと話しかけて来た「青年」（古いか？）

「写真、撮りましょうか」と言ってくれた時の笑顔が、良い山なんだなと思わせてくれました